



冬号

発行所
全国高等学校農場協会

東京都渋谷区
円山町2-20

民の希いは 繁栄の 歴史新たに おこるとき
進む技術の研鑽に 喜び集う 農場協会

第586号 平成29年3月31日
(年4回発行)

第53回 農業教育
研究協議会・報告

平成28年12月1日〜2日
まで農業教育研究協議会が
開催された。

第一日(衆議院第二議員会館)
協議

- ① 農業教育推進に向けた諸課題の改善要求
- ② 実験実習費の調査
- ③ 農場基盤および施設設備の整備に関する調査
- ④ 学校農場の規模に応じた教員の適正配置
- ⑤ 実習教諭免許(単位)取得に関する調査

講演
「初等中等教育の課題について」

文部科学省初等中等教育局
主任視学官 梶山正司氏
「新規就農対策について」
農林水産省経営局
就農・女性課長 佐藤一絵氏
農林水産省を応援する会
報告

研究協議会の終了後、直ちに「農林水産高校を応援する会」が開催された。石破茂会長のあいさつに続き

宮川典子議連事務局長の司会の下、約1時間に及ぶ意見交換や議論が行われた。会議には農水省・文科省・林野庁の担当者も出席し自身のある協議となった。総会では農場協会の岡本会長から4項目の要望が伝えられ、それに沿った意見交換と対策について協議がされた。

要望は大きく農業高校の施設設備と教員の待遇改善に関するもの、また農業高校で学ぶ生徒の教育環境改善と教員の教育力向上に資する支援の充実である。応援する会からは高校生に経営感覚を身につけることの大切さが提案された。

第二日(農場協会会館)
研究発表・協議会

植物系部会
神奈川県 吉田島総合高校 小野 裕士先生
「インターシップに関する調査」詳細は研究集録
動物系部会
埼玉県 児玉白楊高校 市橋 孝訓先生
「愛玩動物に関する調査」詳細は研究集録

講演

食の安全について
―食品メーカーからみた最近の状況―
講師 石井食品株式会社
取締役会長 石井健太郎氏

講演の要旨

(1) 日本の農薬使用量の現実
日本の農薬使用量は中国、韓国に次いで世界で3位。農薬を大量に使用するイメージのあるアメリカの約5倍の使用量である。
「世界第3位の農薬使用量」と「甘い農薬残留基準」が今後、問題になってくる

2020年オリンピックの食堂で使用される農作物の国際規格「グローバルGAP」。この基準によって日本の野菜がオリンピックの選手村で使用できないことが懸念されている。

(2) 日本とEUの農薬残留基準の違い
日本もEUともにポジティブリスト制を取っている日本のポジティブリストに比べ、EUの制度は種類も多く、最大残留基準も厳しい。設定されている農薬の種類。設定されていない農

薬は一律基準(0.01ppm未満)とされ、原則残存が禁止されている。

残留基準の厳しさの比較
日本のポジティブリストで設定されている農薬EU共に設定のある農薬175種類
(3) イシイの残留農薬基準
石井食品独自にEUの農薬残留基準にないイシイの残留農薬基準を設定

日本のポジティブリストにある農薬の種類においてEUのポジティブリストと共有できる農薬に関して
① EUと日本で厳しい残留基準を選択し、イシイ基準とする

② 同じ残留基準のものはそのままだイシイ基準とする
(4) イシイの農薬検査体制(外部検査) 外部機関による農薬残留検査を実施
① 生産履歴から使用している農薬を選択
② 収穫前、1〜2ヶ月以内の最後に使用した農薬の残留を検査

③ 検査結果とイシイ残留基準とを照合し合否判定
④ 合格となった農作物を使用

⑤周りに果樹園がある場合、使用している農薬の残存検査を実施

(5)ISOについて

スイスのジュネーブに本部を置く国際機関で1947年2月23日に活動を開始した。現在「ISO」の参加数は加盟157カ国である。国際間の標準化活動の発展を促進。

◇ISO9001(品質マネジメントシステム:QMS)

「不良品を0に近づけるための仕組みを作っていく」ことを目的としている。

◇ISO22000(食品安全マネジメントシステムFMS)

「HACCP」を基本としたマネジメントシステム規格。世界規模で食品安全対策に取り組むため、世界中に普及させることを目的としている。

マネジメントシステムの概要

食品が調理され、食される時に消費者に危害をもたらさないという概念

一次生産から消費者までの食品及び材料の生産、加工、配送、保管及び取扱い

に係るフードチェーン一連の活動までを監視する。

食品の生産から消費者の口に入るまで「食品危害を重点的に管理するポイント(CCP)」

◇FSSC22000(食品安全に関するマネジメントシステム)

ISO22000とPAS220シリーズを組み合わせて開発した国際規格。GFSIが取引先に認証を求めている規格(認証スキーム規格)の1つ。世界の流通・食品大手約

650社が所属する組織でウォルマート、英テスコ、仏ダノン、イオン、コカコーラ等が所属

マネジメントシステムの概要

ISO22000との違いはFSSC22000の方が項目が幾つか追加され、ISO22000はカバーできなかった項目が追加されている追加された項目は・食品安全対策(フードテロ、原材料やアレルギー物質の管理など)・食品安全に関する要員の監視

・サービスに関する仕様

◇ISO14000(環境マネジメントシステム:EMS)

組織を取り巻く全てのヒト(地域住民、利害関係者)、モノ(水、空気など)に対し組織が与えている影響を明確にし、悪い影響を与えているものを解決していくシステム。地域に対し「環境影響」を考えそれを出さない仕組みづくりを行う

*ポジティブリスト制とは食品衛生法に定められる残留農薬等に関するポジティブリスト制度のこと。

農薬・動物用医薬品・飼料添加物(農薬等という)などを対象に、その成分が一定基準を超えて残留する農作物・食品の、製造・輸入・販売を原則禁止する制度。

約800の農薬等に基準値が設定され、この基準値を満たす農作物・食品だけが流通できる。

食品衛生法の改正により平成18年に導入。

*設定されていない農薬に関しては一律基準として0.01ppm未満と設定されている。

*グローバルGAP(農業生産工程管理)

ヨーロッパの農作物の約8割をカバー、世界80か国以上で8万を超える生産者・団体が認証取得

チエック項目
・農作物の安全性(残存農薬等)
・農作による水質汚染の防止方法
・農業生産者の労働環境の向上

オリンピックの選手村の食堂で使用される農作物の国際規格JGAPは不認定



果樹・植木の剪定には 使って安心 「**岡恒**」のはさみとのこぎり!

※刃持ち・切れ味・使い良さが身上です。

(はさみ) …剪定・植木・刈込・生花・盆栽・松葉・芽切採果・摘果

※赤と白は岡恒のブランドカラーです。

【取扱品目】(のこぎり) …剪定鋸ブランカ・ニューブランカ(ストッパー付)・剪定鋸木サヤ付

※岡恒のはさみが生まれかわりました。

(その他) …接木切出し・砥石・かま・皮サック・木サヤ(195・220) 鋸替刃



岡恒 剪定鋏

〒630-0251 奈良県生駒市谷田町888-1

岡恒総代理店 **大和産業社**

電話 (0743)74-8461番 FAX (0743)74-2736番

※ご注文、お問い合わせはお気軽に上記までご連絡下さい。



岡恒 剪定鋸